

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	03	0404	保育所保育環境充実事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》  
公立保育園の保育施設の環境整備

《事業開始の背景》  
安心、安全な保育環境を保つため、定期的な保育施設の維持管理が必要である。

《事業概要》  
【平成25年度実施事業】  
・エアコン設置箇所数(新規事業)  
2歳児保育室未設置園9保育園  
・園舎改修工事  
①湯本(給水管改修)、②湯口(床改修)、③成島(屋根・外壁塗装)

市民参画の有無 [ 対象外 ]

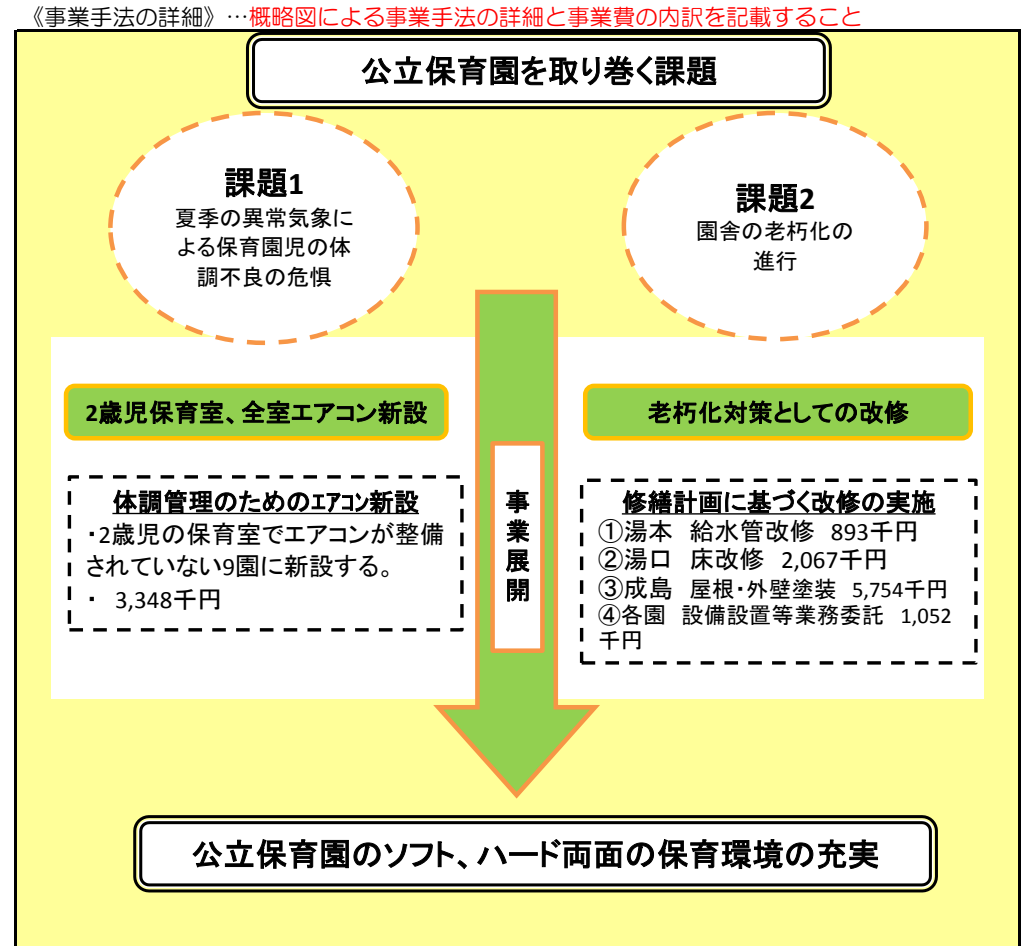
《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① 施設の破損等によるケガ発生件数	件	目標	0	0	
		実績	0	0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	教育部	こども課	牛崎 充人	9-30-342

事業費	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
財源内訳	13,114				
国庫支出金					
地方債					
その他					
一般財源	13,114				



保育所保育環境充実事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	02	03	0404	保育所保育環境充実事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	安心して育てることができる子育て支援の充実
	4		4-1	
目的	公立保育園の保育施設の環境整備			
対象	公立保育園施設、公立保育園保育士			
意図	施設の補修や、備品等の更新により、保育環境が改善する。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

【平成25年度実施事業】

- ・エアコン設置箇所数(新規事業)  
2歳児保育室未設置園9保育園
- ・園舎改修工事  
①湯本(給水管改修)、②湯口(床改修)、③成島(屋根・外壁塗装)

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input checked="" type="checkbox"/> 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 改修工事(床改修・屋根・外壁・給排水設備)	箇所	計画	3	3	
		実績	4	3	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 施設の破損等によるケガ発生件数	件	目標	0	0	
		実績	0	0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度  目標値より高い  概ね目標値どおり  目標値より低い

平成24年度園舎改修の3園とも、建築後30年以上経過しており、保育環境の維持について危惧されていたが、屋根、外壁、床改修により、保育環境が改善され、安全な保育を実施した。  
また、2歳児保育室全室にエアコンを設置する事で、夏季の保育環境悪化が改善され、更に保育環境がより良くなる。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

目的妥当性	<b>公共関与の妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	公立保育園施設の維持管理事業であり、所有者の市が当然、主体的に関わるべき内容である。
有効性	<b>成果の向上余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	市内15ヶ所の公立保育園について、今後も長期的視野に立ち、継続的なメンテナンスを行うことで、安全・安心な保育環境をより良くすることが可能となる。
効率性	<b>事業費・人件費の削減余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	老朽化した保育施設も、適切なタイミングでメンテナンスを継続的に行うことにより、より効果的に、その施設が持つ能力を、安く、長期的に発揮することが可能となることから、結果的に事業費の削減と成りえる。
公平性	<b>受益と負担の適正化余地</b> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	公立保育園は、広く入園児を募集していることから、受益機会は平等である。公立保育園施設整備に伴う公費負担は、施設管理者として当然の義務である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

公立保育園の安全な保育を確保するため、園舎改修工事を実施することにより、保育環境が改善された。